

慶應義塾 中等部

所在地／〒108-0073 港区三田2-17-10
TEL／03-5427-1677
学校長／松本 守
創立／1858年、福澤諭吉が蘭学塾を創始。
1868年、慶應義塾と命名。1947年、
中等部の創立により、男女共学を実現。
URL／www.kgc.keio.ac.jp

	1年	2年	3年
男子	146名	142名	146名
女子	98名	96名	92名
クラス数	6組	6組	6組
総生徒数／720名(中等部) 併設小から 約34%			



〈交通アクセス〉
JR「田町」駅より徒歩10分 都営三田線「三田」
駅より徒歩10分 都営大江戸線「赤羽橋」駅
より徒歩15分 東京メトロ南北線「麻布十番」
駅より徒歩10分

「自由と規律」の精神で円満かつ豊かな人間性を養う

慶應義塾の中学校は全部で3つありますが、こちらは三田の共学校。みずから考え、みずから判断し、みずから行動して、その結果に責任を持てる自立した人物の輩出を目標に、生徒たちに伸びやかで厚みのある教育を実施。大人が定めたルールを押しつけるのではなく、個々の生徒に創設者・福澤諭吉が重視した「気品の泉源」や「知徳の模範」について考える機会を与え、自由のなかに規律を求める方針で、基本的に校則はありません。学習においても、偏らない知識を得ると同時に幅広い経験を積んで、自分の可能性を広げることを推奨しています。

スクールライフ

●教育内容

質の高い授業は伝統校ならではの。英語は外国人講師と日本人教員が共同で指導に当たる時間があり、週1時間は、生徒の習熟度を考慮した少人数クラス編成で授業を行います。国語は朗読や創作など、自己表現力を磨く構成。数学は代数と幾何を並行して学び、中2・3では過去の範囲をプリント問題中心に復習します。中3の選択授業（週2時間）では「ミツパチの世界へようこそ」「アンサンブルを楽しもう」「フランス語入門」「SDGsのすゝめ」など個性的な講座を開き、学習意欲や自主性を高めます。また、毎年10月には英国ホカリル校の生徒が来校し、交流しています。

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数 ※選択科目で履修する科目による

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	6	5	6	4	4
2年	5	6	5	4	4
3年	5	5	5	4	5※
合計	16	16	16	12	13※

◎1日当たりの授業コマ数：45分×6時限

※土曜日は4時限

◎登校時間：8時10分

マネーガイド

■2025年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	教育充実費	諸会費	計
入学手続時	340,000円	930,000円	210,000円	15,000円	1,495,000円
初年度総額	340,000円	930,000円	210,000円	15,000円	1,495,000円

●部活動

校友会活動には現在21の学芸部と17の運動部があり、多くの生徒が兼部。活動は週3日以内としています。弓術部は全国大会優勝経験が、ラグビー部は東日本大会・関東大会出場経験があります。

○文化系／文芸、英語研究、コンピュータ研究、美術、地理研究、歴史、化学研究、気象天文生物愛好、図書、社会研究、器楽、コーラス、報道研究、模型、マンドリン、将棋、近代劇研究、カメラ、書道、料理と手芸、茶道
○体育系／野球、サッカー、ラグビー、陸上競技、バスケットボール、バレーボール、テニス、卓球、水泳、フェンシング、剣道、柔道、弓術、馬術、女子ソフトボール、山岳、体操

●行事

遠足や慶早戦の応援、校内大会、運動会、展覧会(文化祭)など年間を通じてさまざまな行事があります。中1で必修のBLS(救急救命法)講習会では、救急車到着までの応急処置を学びます。

●修学旅行・研修旅行

2025年度の林間学校では、中1は斑尾、中2は嬭恋、中3は蓼科を訪れ、目的地周辺の地形や動植物、歴史、文学などを研究・調査します。中3の卒業旅行は北九州を巡ります。また、夏と春には中2・3の希望者を対象に海外研修旅行を実施しています。

◎寄付金：「慶應義塾債(学校債)」1口10万円、3口以上(任意)、「教育振興資金」年額3万円以上(任意)

◎授業料：2期分納または一括

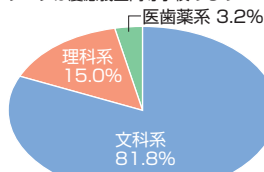
◎奨学金・特待生制度：経済的理由により就学困難と判断される者に、必要に応じて学費を免除

進学指導の概要

中等部長の推薦を受け、男子は慶應義塾高校(日吉)、志木高校、ニューヨーク学院高等部のいずれか、女子は慶應義塾女子高校、ニューヨーク学院高等部のいずれかに進みます。湘南藤沢高等部への進学はできません。進学するに当たり、選抜試験などはありません。慶應義塾高

■併設大学進学者の進路の内訳

※データは慶應義塾高等学校のもの



★他大学への進学状況（2025年度）非公表

校は1学年約700人の大規模校。先の人生にもつながる多くの友人が得られることも、人気の理由です。広大な敷地を持つ志木高校は、課外講座の充実ぶりが特徴的。アイヌ語やヘブライ語など、大学顔負けの24もの言語と文化が学べます。ニューヨーク学院高等部は、第9学年から第12学年までの4年制の共学校。日米双方から私立高校の認可を受けてい

るので、卒業後は両国の高等学校卒業の学歴を取得できます。慶應義塾女子高校は大学キャンパスに隣接。6月の演劇会、9月の運動会、10月の十月祭からなる三大行事では、生徒たちがすべてを企画運営。演劇会では「クラス単位」、運動会では「全学年同クラス単位」、そして十月祭では「各クラブ単位」で、一つの目標に向かって力を合わせます。

■併設大学（慶應義塾大学）への推薦状況

※データは慶應義塾高等学校のもの

	法学部	経済学部	商学部	文学部	理工学部	医学部	総合政策学部	環境情報学部	看護医療学部	薬学部
23年	224名	210名	93名	15名	102名	22名	16名	20名	一名	8名
24年	224名	210名	70名	9名	86名	22名	11名	22名	一名	2名
25年	224名	210名	95名	27名	109名	22名	19名	19名	一名	1名

★指定校推薦枠（2025年度）非公表

入試情報

■過去3年間の入試結果

			募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
23年	1次	男子	男子約120 女子約50	856	697	289	2.4
		女子		448	352	110	3.2
	2次※	男子		—	250	135	1.9
		女子		—	104	58	1.8
24年	1次	男子	男子約120 女子約50	861	722	308	2.3
		女子		454	349	117	3.0
	2次※	男子		—	217	142	1.5
		女子		—	106	56	1.9
25年	1次	男子	男子約120 女子約50	834	672	331	2.0
		女子		401	322	131	2.5
	2次※	男子		—	276	139	2.0
		女子		—	121	57	2.1

※1次合格者のみ参加（体育実技と面接）
○配点：算国＝各100点 理社＝各50点
○合格最低点：非公表

25年の募集要項

※以下は2025年の募集要項です。2026年の要項は学校の発表をお待ちください。

入 試 日／1次2月3日(筆答) 2次2月5日(1次合格者のみ)

募集人員／男女約170名(男子約120名 女子約50名)

合格発表／1次2月4日 2次2月6日

手続締切／2月7日

試験科目／1次：国語(45分・100点)、算数(45分・100点)、

理科(25分・50点)、社会(25分・50点)

2次：体育実技、面接

面 接／あり(2次で保護者同席の1回)

受 験 料／30,000円

公開行事・説明会予定

【学校説明会】慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホール

11月 8日(土)11時～

11月 9日(日)11時～

【運動会】慶應義塾大学日吉陸上競技場

【展覧会(文化祭)】

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サビックスOB・OGの声

- 自由な校風で、生徒による自治が尊重されています。校則が厳しくない代わりに、中学生らしくあるよう自分で考え、行動することが求められます。入学式などで着用する“基準服”はありますが、制服はなく、ふだんは自由な服装で登校して構わないものの、悪目立ちするような服を着てくる生徒はいません。
- 生徒一人ひとりが興味・関心を持ったことに、とことん打ち込んでいます。校友会(クラブ活動)を掛け持ちする人が多く、わたしも体操部のほかに、化学研究会と社会研究会も兼部し、充実した毎日を過ごしています。
- 中1の5月には六大学野球の慶早戦の応援に行きます。“壮大”というのがいちばんの感想で、応援歌を歌ったときには慶應義塾の一員になったことを実感しました。